

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2795000724		
法人名	株式会社 プラティア		
事業所名	グループホーム プラティア花園		
所在地	大阪府東大阪市稲葉2丁目1番13号		
自己評価作成日	令和3年8月19日	評価結果市町村受理日	令和3年10月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/28/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-25-224		
訪問調査日	令和3年9月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人の運営理念である『ご利用者様本位』とは何かをスタッフ全員で考え、日々実行できるように取り組んでいます。ご利用者様が、いつまでも夢と希望を持ち続けられるよう、ご本人様が望んでいらっしゃることを毎日の生活の中での話から見つけ出したり、何気ない行動の中からニーズを見つけ出したりしています。
高齢者、認知症だからとあきらめるのではなくその人らしく生活できるよう支援しています。ご利用者の第二の人生を預かっている気持で、余生を楽しく、ここに来てよかったと思ってもらえるような施設を目指しています。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

デイサービスと併設のグループホームである。通常は、日常的な外出・地域行事への参加・ボランティアの来訪等の地域交流、「寄り添い介護」を活用した個別外出等に取り組んでいる。コロナ禍のためそれらは休止しているが、季節感・生活感を大切に生活と環境づくりに努め、日常生活の中で利用者個々のニーズや意向に沿った生活が継続できるよう支援に努めている。手づくりの食事を提供し、フリー食の日も設け、利用者も調理や後片付けに参加し、ベランダで育てた花や野菜を生活に取り入れている。体操・制作・レクリエーションも取り入れながら、利用者が自身のペースでその人らしく過ごせる生活を支援している。定期的に「近頃のご様子」を郵送し、家族に利用者の近況を伝えている。医療連携体制を整備し、家族の希望に応じて看取り介護にも対応している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

グループホームプラティア花園

自己評価および外部評価結果

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念をスタッフがいつも目にするところに掲げている。会議等の場において唱和することで、常に行動規範としての意識付けをしています。会議、面談等で実践できているかどうかの確認をする機会を設けている。	「運営理念」「基本方針」を明文化し、「基本方針」に「地域社会と共に」という地域密着型サービスの意義を盛り込んでいる。「運営理念」を各フロアのスタッフルームに掲示し、月1回開催する全体会議の初めに唱和し共有を図っている。全体会議・フロアミーティング等で立ち戻って話し合い、理念の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で運営推進会議を含め、地域の行事や、事業所の行事が行われていない。そのため事業所としての交流はない。しかしご近所の方への挨拶や、個々でのコミュニケーションは図れている。	通常は、散歩・買い物・理美容・外食等での外出、地域行事への参加し、ボランティアの来訪等、利用者が地域とつながりながら生活できる機会作りに努めている。令和3年度は、外出や交流は休止しているが、近隣住民との挨拶やコミュニケーションは継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で認知症について話をさせていただく機会がある。現在、地域の薬局スペースをお借りして行っていた介護相談会は中止をさせていただいています。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の中、運営推進会議はできていないため意見を生かしたサービスの向上には行かせていない。資料でのやり取りだけになっている。	コロナ禍のため、令和2年度後半から、運営推進会議(書面会議を含む)を休止している。コロナ禍終息に再開を予定している。	運営推進会議を開催できない期間は、書面で利用者や事業所の状況等を報告し、返信により構成メンバーと意見・情報交換する書面会議を行う等の工夫が望まれます。

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナ禍の中市役所のはほとんど行けていない。福祉事務所には月に一度行かなければならないので担当者とは意思疎通できている。	令和3年度は、運営推進会議・介護相談員の訪問・グループホーム連絡会等を休止している。市とはメール等で情報提供を受けたり、状況を報告する等で連携している。福祉事務所との連携は毎月行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に2回の勉強会を開催して、身体拘束は行わないことの理解している。身体拘束ゼロ委員会では、3か月に1回会議を開催して、身体拘束が行われていないか、職員に理解を進めていくにはどうすればいいか。目標を決めその過程と周知についてを話し合っている。玄関は建物の構造上および防犯上施錠をさせていただいている。ユニット間は自由に行き来していただいています。	「身体拘束適正化に関する理念及び方針」を整備し、身体拘束を行わないケアを実践している。「身体拘束委員会」を4ヶ月に1回開催し、スピーチロック・不適切ケアの防止等に向けて検討している。全体会議で報告し、委員会の議事録を各フロアで回覧し、職員に周知を図っている。年間研修計画をもとに「身体拘束について」の研修を年2回行っている。全体会議の中で研修を行い、参加者はレポート提出している。欠席者にも資料配布とレポート提出で周知を図っている。玄関は事故防止のために施錠しているが、各フロアの入り口から階段・エレベーターの使用は自由にでき、希望があれば戸外で気分転換を図り、閉塞感を感じない対応に努めている。	「身体拘束委員会」は3ヶ月に1回以上の開催が望まれます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	不適切なケアが行われていないか、虐待に繋がるようなケアになっていないか、職員同士で声掛けを行い、いつもお互いが気に掛けるようにしている。ストレスや悩みに気づけるように職員間で声掛けを行っている。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用者様やご家族様と話し合いを行い、必要であれば個々のニーズに合わせて後見人制度の利用につなげられるようサポートを行っている。また、利用開始後も後見人の方の訪問時等の際には、適切な支援ができるように調整をさせていただいています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をいただいて支援方針やリスク等も併せて説明させていただいています。不安に思う点や疑問点等を途中でたずねるようにして納得いただける務めています。また、よくある質問やホームでの生活に沿ったを具体内容を提示するようにし、捕捉説明させていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常にご利用者様の話や傾聴するようにしており、場合によってはご家族様と共に話し合う場を設けている。ご家族様来訪時には職員は積極的に声掛けさせていただくようにはしているが、コロナ禍の中、面会禁止を行っているので直接話す機会は少なくはなっている。	利用者の意見や要望は、日々のコミュニケーションの中で把握に努め、フロアミーティングで共有している。通常は家族の面会時に近況を報告し、意見や要望の把握に努めている。コロナ禍のため、家族の面会は基本的には休止しており、主に電話での対応となっている。2ヶ月に1回郵送する「近頃のご様子」で、利用者個々の生活面・体調面や、事業所の行事を伝え、家族が意見や要望を出しやすいように取り組んでいる。	

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の事業所内での会議やフロアミーティング等で報告や提案をお互いが出し合うようにしている。必要に応じて、職員と個別に話し合いの時間を設けて意見交換している。	月に1回、全体会議とフロアミーティングを開催し、職員の意見や提案を、利用者のケアや介護計画・業務・行事等に反映している。フロアミーティングの前に職員から議題案を収集し、会議が効果的に行えるよう工夫している。管理者は、日頃から意見を出しやすい関係づくりに努め、定期的な面談もあり、管理者やエリアマネージャーが個別に意見を聴く機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	人事考課制度があり、人事考課表や職能要件書を用いて職員が個々に自己評価を行い自らを見つめなおす機会にしている。同時に上司はしっかりと努力や実績に対して評価をして個々に反映させ、向上心を持って働ける環境となっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修制度により、研修を受けやすい環境になっているが現在はコロナ禍の為に中止している。ホーム内では毎月順番に担当者が勉強会を開催して、学習する機会と時間を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	普段は近隣グループホームの運営推進会議に参加したり、GH事業者部会に参加したりして、情報交換を行っているがコロナ禍の中現在はできていない。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前面談からご本人様とじっくりと向き合いながら、思いをしっかりと受け止められるようにしている。入居までにできる限りお会いできる機会を多く持つようにする等、柔軟に対応することで、入居の不安軽減できるよう心掛けている。職員が同じ介護ができるよう情報共有を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの介護で苦勞されてきたことをしっかりと受け止めることから始めさせていただきようとしています。入居前面談等でしっかりと不安等に応えるようにして、サービス利用開始時には安心していただけるように心がけている。そして、ご家族とともにご本人様をささえていけるような関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャー関係者からの情報収集を行い、それを基に、入居前面談や契約時にご家族様の必要とされていることに耳を傾け、ご本人様の様子を注意深く観察することで、必要とされるサービス内容を提案して、スムーズに様々なサービス提供ができるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	法人のご本人様が主人公である考えを理解して、ご本人様の気持ちを大切にしています。生活する上で本人様ができることはしていただいて、そのできるところを共に生きる姿勢、助け合う気持ちに繋がっていきけるようにしています。お互いが普段の生活の中で何気ないところで繋がっていきける環境づくりに努めています。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	ご本人様とご家族の絆がホームでの生活 においても重要と考えています。来訪時、 共に過ごせる居場所作り等を心掛けていま す。困難な事例等では、一緒になって支援 していけるよう、その方法についても確認さ せていただいています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様やご家族様に馴染みの人や場所 を聴き、入居されるまでの生活を理解する ように努めている。そして、ご家族様の協力 を得ながら馴染みの場所に外出されている。 また、『寄り添い介護』において、ご本人様 の希望される場所や馴染みの場所へ訪れ ることで安心に繋げられるよう支援するが、 現在はコロナ禍の為行えていない。	入居時に馴染みの人や場所についての情報 があれば、「アセスメントシート」に記録してい る。通常は、家族・知人等の来訪の際には、 居室や共用スペースでゆっくり過ごせるよう に配慮している。施設内のデイサービスとの 交流で、馴染みの関係が継続することある。 馴染みの場所については、個別の外出 支援や「寄り添い介護」を活用して関係継続 の支援に努めている。令和3年度は、コロナ 禍のため、面会・交流・外出を休止している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	ご利用者様お一人おひとりの思いを理解し て、どのような関わり方がいいのかを職員 間でも話し合っている。ご利用者様同士が 交流できるレクリエーションや、お互いにで きることを一緒にしたり助け合ったりするこ とができるような雰囲気作りや機会を提供 している。ご利用者様同士で口論になるこ ともあるが、職員が間に入ることにより、良 好な関係となるよう努めている。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたあとも継続性を大切にして、入居されていたときと同じように相談できるようにしています。必要に応じて、次の事業所等との連携して、安定した生活が継続できるようにしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で発せられる言葉や表情、行動等を職員間で情報共有し、ご本人様が本当に望まれていることは何なのか。言葉にならない思いを考えることを大切にしています。ご家族様にも確認を行っている。	利用者の思いや暮らし方の希望について、入居時に把握した内容は「アセスメントシート」に記録している。入居後に把握した内容は、フロアミーティング等で共有し、介護計画や支援に反映できるよう取り組んでいる。把握が困難な場合も、日々のコミュニケーションの中で引き出せるよう努め、家族からの意見や情報も参考にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居までに可能な限りご本人様・ご家族様、関係者の方から情報を得るようにしています。入居後も日々の生活や会話の中から生活歴を知るようにして、できる限りこれまで過ごされていた環境に近い空間の提供と生活習慣に添って安心して過ごしていただけるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの生活習慣を継続できるように、個人の生活リズムを大切にしている。バイタルチェック表、水分・食事摂取チェック表、排泄チェック表等で個人個人の日々の状態をしっかりと確認している。また、できること、できないこと、できにくくなっていることの把握に努め、適切なサポートができることでその能力を発揮していただけるようにしています。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常に情報収集に努めており、定期的または現状に変化があった時のカンファレンスにおいて意見を出し合いどのような支援ができるのかを話し合っている。医療頻度の高い方に関しては、医師や看護師に意見を求めるようにしている。	入居時の「アセスメントシート」を基に、初回の介護計画を作成し、以降は、定期的には6ヶ月毎に更新している。実施状況はシステムの介護記録に記録している。毎月のフロアミーティングで、利用者の状況の共有と検討を行っている。介護計画更新時は、モニタリングを行い、フロアミーティングで検討している。	介護計画の更新時には、再アセスメントを行うこと、また、フロアミーティングでの介護計画についての検討が明確になる議事録の記載が望まれます。(主治医等関係者の意見を反映した場合は、その記載も望まれます。)今後も、介護計画に沿った実施状況が明確になる記録方法の定着を期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランに沿った実践を行う中で、変化や気づきを記録することで、共有するように努めている。それにより日々のケアの向上ができています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化を見逃すことなく、いち早くその時々可能な限りの対応ができるよう、枠にとらわれず協力を求め最善のサービスが提供できるように体制の構築に努めています。介護の重度化予防や重度化時対応に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の中外出とすることができていない。外部からのボランティアも来ていただくことができず、職員で試行錯誤しながらどうしたら、コロナ禍の中楽しんでもらえるか考えている。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時にかかりつけ医をどちらにするか確認をしています。ご本人様やご家族様が信頼され、希望されるかかりつけ医を大切にさせていただけるようにしています。さらに、かかりつけ医と連携していつでも適切な医療を受けることができますようにしています。管理者や職員は、ご家族様での通院が困難な際には同行しご家族様に状況報告しています。	契約時に確認し、利用者・家族の希望に沿った受診を支援している。定期的に内科の訪問診療、歯科の往診、必要時に整形外科の通院送迎を受けられる体制がある。他科の通院については家族の同行を基本としている。週に1回の看護師の訪問もある。訪問診療については「訪問診療・医療連携記録」、看護師の訪問については「健康管理報告書」に記録し、医療機関・事業所と医療連携を図っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	クリニックより看護師がユニットごとに週1回訪問していただいています。健康管理日誌を使って状態をお互いに共有して指示やアドバイスを受けています。定期以外にも連絡を密に行って早期に適切な医療が受けられるように支援をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーを提供する等ホームでの生活が継続できるよう情報提供しています。入院中は、できるだけ面会をして、ご本人様の状態把握に努めています。長期の入院は、認知症の症状を悪化させることがあるので、できる限り早い段階での退院ができないか相談するようにしています。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に方針の説明をすることで、今後の入居生活で起こる可能性のある不安を少しでも軽減できるようにしています。ホームですること、できないことを含めて説明させていた上でご本人様やご家族様の意向をうかがっています。できる限りご本人様・ご家族様の希望・要望に沿えるよう医療機関等と連携しながら、穏やかな終末をホームを含めたどこで迎えるのか、終末期の支援に取り組んでいます。	契約時に、「重度化対応指針」「看取りの指針」をもとに事業所の方針を説明し同意を得ている。終末期を迎えた段階で、主治医から家族に状況を説明し、事業所からできること・できないこと等を再度説明し、家族の意向を確認している。家族に看取り介護の希望があれば、「看取りの介護計画」を作成し、主治医・看護師と連携し、家族の意向に沿った支援を行っている。年間計画に入れて「ターミナルケアについて」の研修を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを基に、急変時の対応について、一覧表を作成し掲示して迅速な対応ができるようにしている。今までは外部の救命講習会等の参加を職員に促しているが現在はコロナ禍の為外部研修に行っていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防避難訓練を予定しているがコロナ禍の為、消防署立合いの訓練実施が延期されている。また、地震や水害等の実際の訓練が行えておらず、避難訓練・行動訓練を行う必要があるが、コロナが少なくなるのを待っている状況。 現在は資料で周知している。	例年は、年に2回、通報・消火・避難誘導の総合訓練を実施している。1回は昼間想定・消防署立ち合い・デイサービスと合同で実施し、もう1回は単独で夜間想定・自主訓練を実施している。令和3年度は、デイサービスと合同で、昼間の火災を想定した避難訓練を1回実施し、年度内に夜間を想定した事業所単独の訓練を予定している。備蓄については、法人からの支給と共に、事業所でも準備している。	訓練実施後は、訓練内容や評価・課題などを記録した実施報告書を作成し、訓練に参加できなかった職員にも避難方法等を周知することが望まれます。

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様お一人おひとりのこれまでの人生と、今の姿をありのまま受け止めることで、人格を尊重し、また、人生の大先輩として尊敬の念を失うことなく、節度ある言葉遣いを心がけています。しかしながら、配慮にかけた言葉遣いになったり、声掛けが足りず不安にさせてしまうような場面があるので、さらなる意識改善を進めるよう職員間で注意し合える関係作りを進めている。	年間研修計画に沿って「ホスピタリティ・マナー」「プライバシー保護の関わり」「認知症ケア」等の研修を行い、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応について学ぶ機会を設けている。気になる言葉かけや対応があれば、管理者が注意喚起している。個人ファイル類は事務所の鍵のかかる書庫に保管し、写真・ブログについては「契約時確認表」で家族の意向を確認している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の何気ない会話の中から、ご本人様が望まれていることを聴くようにしたり、何を伝えようかとされているのかを考えたりするようにしています。生活の様々な場面で、自己決定や選択をしていただける声かけや機会の提供を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員都合にならないように、業務見直し等では慎重に検討しています。1日の基本的な日課はあるが、起床や朝食の時間は特に決めていない等、お一人おひとりのペースに生活習慣に合わせて暮らしていただけるように配慮しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日気持ちよく過ごしていただけるよう身だしなみを整えるように心掛けている。地域の理髪店に出かけてカットを楽しんでいたたり、毛染めをしたりしている。職員と一緒に買い物に出かけ、好きな洋服の購入やお化粧が好きな方のサポートもさせていただいています。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材のカットや盛り付け、お盆拭き等ができる方のできる協力をしていただいている。できる喜びや楽しみを感じていただけ、また力を発揮できる場にもなっています。職員もご利用者様と同じ食事をできる限り一緒にいただいで楽しい食事時間になるようにしています。イベント食や外食レクも提供。個人の身体状況に合わせた形態を素早く調節して提供。好みの食事の提供を心掛けています。	委託業者から献立と食材が届き、手作りの食事を提供している。利用者個々の状況に応じた食事形態には、各フロアで対応している。月に1～2回フリー食の日を設け、利用者の希望の献立で調理したり、購入して提供している。行事食は、フリー食の日を活用している。食材のカット、後片付け、おやつ作り等に、利用者が参加できるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量を毎日しっかりとチェック表を利用して把握しています。また、摂取量が少なくなっている方には、食事形態の変更や好みに合わせた食事内容や様々な飲料水等の提供をさせていただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員は、口腔内の汚れが誤嚥性肺炎を起こすことを理解して、毎食後、声かけをして歯磨きを促し磨き残しの確認や口腔ガーゼ等を使った口腔ケアを実施して清潔が保てるように努めています。協力歯科機関よりアドバイスをいただき職員の口腔ケア意識向上を行っている。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄状況やパターンを把握して、声かけや誘導を行っています。また、排泄の兆候を見逃さないようにして、不快感の早期解消に努めています。お一人おひとりに合った排泄方法、排泄用品の使用で対応し、できないところだけのサポートに徹している。おむつに頼らないですむように、できる限り車いすの方も便座に座っていただいで排泄できるようにしています。	利用者個々の排泄の自立度に応じた声かけや介助により、昼間はトイレでの排泄、排泄の自立に向けた支援を行っている。排泄状況や排泄パターンは、排泄チェック表とタブレット記録に記録し把握している。利用者個々の状況についてはフロアミーティングで検討し、現状に適した介助方法や排せつ用品の使用につなげている。ドアの開閉や誘導・報告時等、羞恥心やプライバシーへの配慮の徹底に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を利用して排便の確認をすることや水分摂取の大切さを理解して、便秘にならないように努めています。食事前の体操や散歩等適度な運動をしたり、乳製品等を提供することで、便秘改善を目指しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決めておらず、ご本人様に確認をしてから入浴していただいています。失禁等があれば、時間外でもシャワー浴等に対応しています。拒否があるときは無理をせず、タイミングをみてお誘いしたり対応職員が変わったりしてご自身からの入浴を心掛けている。	週2～3回の入浴を基本とし、利用者の体調・気分などに応じて、入浴の日を決めず柔軟に対応している。入浴チェック表・タブレット記録により、入浴状況を把握している。同性介助の意向に沿い、現在は、入浴拒否がない状況である。身体状況に応じて、デイサービスの機会浴が使用できる設備もある。湯は一人ずつ更湯にし、ゆず湯・入浴剤などで入浴が楽しめる工夫も行っている。	

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人おひとりの生活リズムや体調に合わせて休息をしていただいています。起床時間や就寝時間は決めておりません。日中、外気浴したり活動量を増やす工夫したりして、夜間入眠しやすく熟睡できるように、努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や看護師、薬剤師からの説明を受けて薬の確認や内容の把握を行っています。特に薬の変更があったときは、症状の変化やご様子の変化がないかをしっかりと見るようにしています。服薬ルールを設けて確認し合いながら服薬していただいています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できなくなってしまったことが、職員と一緒に繰り返し行うことでできるようになる、その喜びを感じていただけるよう能力の見極めをしっかりと行って実施していただいています。個々の能力に応じた役割を持っていただくことやレクリエーションの充実にも力をいれています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	すべての希望に沿った外出はできないが、できる限り時間を見つけて散歩や買い物に出かけています。個別の外出等は『寄り添い介護』を活用して個々の希望に沿った外出ができるようにしています。	通常は、利用者の希望に沿って、散歩・買い物・外食・地域行事・季節の外出行事、また、個別の外出支援や「寄り添い介護」等、外出の機会を設けている。令和3年度は外出を休止し、時間帯や場所を選んで近隣の散歩はを行っている。	

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことで安心される方には、ご家族様の了解をいただいて、ご自身で管理していただいています。また、ご希望によって、事務所で小口現金として預らせていただいて、買い物等には同行するが、ご自身で支払いができる方には、支払いをしていただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームの電話をご本人様の希望により自由に利用していただいています。ご家族様へ手紙をお預かりして投函させていただくことや郵便局と一緒に出かけるともありません。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は常に清潔が保たれるようにしています。季節に合わせた飾りをご利用者様と一緒に作成して飾り付けをしています。玄関やベランダでは、季節に合った花や野菜の収穫が楽しめるように、ご利用者様と一緒にお世話をしています。	温湿度管理、定期的な換気・掃除・消毒を行い、快適で衛生的な環境整備に努めている。各フロアにテーブル席とソファ、廊下にもソファを置き、利用者が思い思いの場所で過ごせるように配慮している。利用者と一緒に制作した季節の飾りや生花を飾り、ベランダで花や野菜を育て季節感を取り入れている。台所から調理の匂いや音があり、また、利用者が食事作りや後片付け・洗濯物たたみ等の家事に参加し、生活感が感じられるよう支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関やエレベーターホール等にテーブルやイスがあり、音楽が流れる中でゆっくりとくつろげるように配慮している。		

グループホームプラティア花園

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で暮らされていた時の使い慣れた家具や食器等をできるだけ持ち込んでいただけるようお願いしています。居室内にご自宅が再現できるようにご家族様に協力をいただいています。ご自身で作られた自慢の作品も飾らせていただいています。	各居室に、洗面台とクロゼット、レンタルのベッドを設置して。使い慣れたテレビ・冷蔵庫・たんすや、仏壇・写真・人形等なじみの物が持ち込まれている。空気清浄機や加湿器の持ち込みを勧め、手すりの設置や動線を考慮したレイアウト等、快適に安全に過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレ等に目印となるような表示や写真等を取り付けて迷わない工夫。ご利用者の動線に物を置かない安全への配慮。能力に応じた福祉用具の利用でこれまでの生活を継続していただけるようにしています。		